

編集発行  
佐社協  
米水津支部  
36-7910

# よのうづの輪

～社協 米水津支部だより～

## 第7回 佐伯市社会福祉大会



表彰式の後には、「地域共生社会に必要な地域づくりの取り組み」と題して大坂 純 氏（東北子ども福祉専門学院副学長）による講演がありました。地域の「お宝」（あるもの探し）探しを通じて、

1月24日（木）和楽において、第7回社会福祉大会が開催されました。大会では永年にわたり社会福祉事業へ功績のあった方々への表彰状・感謝状の贈呈がおこなわれました。表彰された方々におかれましては、多年にわたり地域福祉の向上にご尽力いただき、誠にありがとうございました。今後とも、地域福祉推進へのご協力をよろしくお願いいたします。

改めて地域の魅力を再確認することができ、新たな地域づくりにつながること。事例を交えながら分かりやすく、説明をして下さいました。今後の地域づくりにおいて参考になるお話をお聞きすることができました。ご来場者の皆様も大変熱心に耳を傾けておられました。



**ありがとうございました！**

会場前で実施されたフードドライブでは、ご来場者の皆様より、たくさんの食品のご寄付をいただきました。集まった食品は、子ども食堂や生活に困窮している方にお配りいたします。



フードドライブとは・・・

ご家庭で余っていて賞味期限が切れていない食品を地域や社会で役立てるために寄付をする活動や行動のことを言います。

### ◆米水津地区の受賞者（団体）の皆さん◆

#### 佐伯市社会福祉協議会会長表彰

#### ＜民生委員・児童委員特別功労者＞

渡邊 速水  
麻生 信子  
三原 ひとみ

#### ＜社会福祉事業関係功労者＞

宮脇 茂俊

#### ＜優良社会福祉施設・団体＞

米水津地区社会福祉協議会



**おめでとう  
ございます**

# ボランティア福祉体験プログラム



いつもより、箸でつかみにくいなあ…



階段の上り下りも一苦労…  
足が痛い、腰が痛い…



高い声より、低い声のほうが聞き取りやすい！



2/7(木) 米水津小学校の6年生を対象に高齢者疑似体験を実施しました。

加齢に伴うからだの変化についての講話の後に、実際にセットを身に着け、高齢者役・介助者役を全員が交代で体験しました。

不自由さを体験することで、高齢者の気持ちや接し方を考えるきっかけづくりになることを期待しています。

目線や立場をかえるだけで、気づいたり・感じたりすることがたくさんあります。自分とはちがう他者を理解し、思いやりの心をもって接すること、お互いに助け合い・支え合うことの大切さを考えていただくことができました。

## ★感想★

- ・自分のおじいちゃん・おばあちゃんはまだ元気だけど、これから年をとって困ったときは支えてあげたい。地域で困っている人がいたときは助けてあげたい。
- ・色によって見え方にちがいがあることが分かったので、色を選ぶ工夫をすることが大切だとわかった。
- ・早口で話されると聞き取れなかった。ゆっくり落ち着いた声で話してくれると聞こえやすかった。今後、高齢者と話をするときは気をつけたい。
- ・いつも何気なくしている動きなのに、疲れた。高齢者の気持ちが理解できた。



## ふれあい・いきいきサロン 支援員募集！

### ◆業務内容◆

ふれあい・いきいきサロン（高齢者サロン）での支援（介護予防体操、レクリエーション、見守り等）を行う業務です。

2人1組で、会場の各地区センターに行ってください。特別な資格等は必要ありません。

※ 詳しい内容については、下記連絡先までお問合せ下さい。

社協米水津支部 担当：水口



## ～今後の予定～

### 2月

- 19日 ふれあい配食サービス
- 20日 米水津民児協定例会
- 28日 よのうづすくすくサロン（子育て）  
※3月はお休みです

### 3月

- 8日 地区社協交流会
- 19日 ふれあい配食サービス

※ 佐伯市社協ホームページに、社協の事業や活動の紹介を掲載しております。是非、ご覧下さい！